

日中関係学会青年交流部会

2024年度第1回定例会

「第12回宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう

皆さまのご好評を受けまして、例年の恒例となった宮本賞受賞者を囲む交流するイベントを、今年度も第1回定例会として下記の通り、遠隔会議システムにより実施する運びとなりました。壮年・シニアの皆さまや、会員でない学生の方も参加できます。とくに「宮本賞レター交流2024」プロジェクトに参加される方は、著者と話ができる機会ですので、積極的にお申し込みください。

●日時・会場 2024年5月22日（水）日本時間18:30～21:00（Zoomによる開催）

●参加費 無 料

●次第 18:15～18:30 開場・入場タイム

18:30～18:35 開会の挨拶、趣旨説明

18:35～19:10 <第1部>自己紹介：各受賞者からひと言ずつ

当日参加する宮本賞受賞者より、それぞれお名前と本日の座談会に向けた「キックオフ・メッセージ」をひと言ずつ頂戴いたします。

19:10～19:15（休憩5分）

19:15～20:25 <第2部>座談会「宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう

☞ブレイクアウトルームへの参加に関する説明のあと、

宮本賞受賞者を交えた座談会で意見交換を行います

（受賞した論文執筆者の一覧は次ページ参照）。

20:25～20:30（休憩5分）

20:30～20:55 <第3部>全体会（各ルーム代表者等からの感想）

20:55～21:00 青年交流部会のご紹介、閉会の挨拶

●参加申込 **5月12日（日）までに青年交流部会事務局にご連絡ください。**

Google Forms 入力フォーム ☞ <https://forms.gle/R8wdLAXFD6ZQLKDF9>

☞ご連絡を頂戴したのちに、ご指定のアドレスに宛てて、参加URLと

パスワードならびに当日の進め方についてご案内をお送りします。

※技術的な原因で入力できない場合、青年交流部会事務局（高久保）ま

でメールでお申し込みください（takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp）。

＜第2部＞受賞した論文執筆者の皆さま（学年表記は宮本賞論文提出、●は出席予定）

1	<p>アパレル企業の発展とインフルエンサーの発信力 ～中国発ファストファッション「SHEIN」の事例～ 明治大学経営学部経営学科4年 津川凜理香さん</p>
2	<p>日中学生と地域協働による「第二のふるさとづくり」の提案～新潟県佐渡市を事例に 東洋大学経済学部国際経済学科 竹田安里さん（3年=代表）●、上原圭吾さん（3年）、林時鴻さん（2年）</p>
3	<p>日本と中国のジェンダー問題の現状及び中日両国の交流によるジェンダー問題克服の 可能性について 山東大学外国語学院日本語学科4年 彭佳美竹さん</p>
4	<p>観光を通じた相互理解～日中関係強化のための持続可能なアプローチ～ 青山学院大学国際政治経済学部コミュニケーション学科3年 長谷川陸也さん（代表）、内山明日菜さん、小木曾結衣さん、落合徳潤さん、 平ヴィヴィアンさん、田口遼馬さん、千葉はるひさん、廣瀬大悟さん</p>
5	<p>ACG 文化を架け橋に考えた日中関係の有り様～現状分析と日中友好の可能性～ 山東大学外国語学部日本語コース2年 孫異凡さん●</p>
6	<p>日本の小公共圏であるインターネットコミュニティに見られる対中認識 ～Q&A ネットコミュニティ Quora 日本語版を対象に～ 中山大学外国語学院日本語学科3年 李欣巍さん</p>
7	<p>胎動する日中協業の新しい形～国を超えるオープンソース・ソフトウェア（OSS）～ 日本大学商学部高久保豊ゼミナールチーム Initium（イニティウム）● 関根駆さん、中村陽月さん、吉田海斗さん、濱田圭吾さん、梶本有咲さん、林冰馨さん</p>
8	<p>予はあえて両国民に希望する ～松本亀次郎の生涯と彼からのメッセージ～ 東北大学大学院国際文化研究科博士課程2年 何琦璠さん●</p>
9	<p>邯鄲人による日本の邯鄲イメージの研究～「邯鄲の夢」の受容過程を中心に～ 東北大学大学院国際文化研究科修士課程修了 李孰是而さん●</p>
10	<p>日本人の中国イメージを好転させる可能性～中国ドラマの日本進出現状から一考察～ 上海財経大学大学院・2023年卒業 林钰琛さん</p>
11	<p>多主体協働による伝統文化のクリエイティブ開発戦略及びそのメカニズム ～京町家の開発を例に～ 北京外国語大学日本語学院・日本学研究センター 周宇豪さん（院2年=代表）、孫潤昊さん（院2年）、 蘇瑋霖さん（学部4年）、余光海さん（学部4年）●</p>
12	<p>蠟山政道の東亜協同体論における「地域的運命」の意識について ～「Raumsschicksal」という概念の思想的な溯源を中心に～ 北京外国語大学北京日本学研究センター博士前期課程2年 黄嫣然さん●</p>
13	<p>スィックトランスレーションに基づく『茶経』の日本語訳の学術的価値について ～布目潮風の訳本を例に～ 南京農業大学外国語大学院日本語翻訳 陸書涵さん●</p>

以上